

市長タウンミーティング概要（門沢橋コミュニティセンター）

令和6年2月25日（日）16:00～17:00

○意見交換

〔質問〕

昨年度の市長タウンミーティングで「もし東日本大震災のように津波が10キロ先まで押し寄せる地震が海老名市で発生した場合の避難方法を教えてほしい」と伺ったところ、市長は、「さがみ縦貫道路は免震構造でできているため、さがみ縦貫道路に避難すればよい」と回答された。門沢橋の地域からさがみ縦貫道路まで車を所有していない方はどのように避難すればよいのか伺いたい。

〔回答〕

東日本大震災の事例を海老名市に照らし合わせた場合、川幅が異なること、海老名市の南側に東海道新幹線や取水堰などの構造物があるため、海老名市まで津波が到達する可能性は低く、津波を懸念する必要はないと考えている。津波が発生した場合、自動車を所有している方は自動車で避難していただき、自動車を所有していない方は市民のみなさんで協力しながら、高台の方へ避難することを想定している。私は津波より相模川の氾濫の方が影響すると考えており、台風19号では、相模川の氾濫が予測されたため、避難勧告による指示を行い、5,000名以上の市民が避難した。このことで避難所の運営に関する重大さを認識することができたため、行政では危機管理課を中心に全庁的に体制を整えている。

災害が発生した場合、避難できる方は垂直避難や高台の方へ避難し、避難できない方は行政に連絡をいただき、職員を派遣することも考えられる。共助の関係で避難していくことが必要である。

〔質問〕

現在、門沢橋は物流の拠点になっており、多くの倉庫がある。かなりの税収があると考えられるが、どの程度の税収があるのか、また、使途を伺いたい。

〔回答〕

税収がいくらかというご質問に関しては、明言できない。

税収の使途については、福祉、学校、高齢化対策等に使用している。

〔質問〕

門沢橋地域は中央周辺地域と比べてスーパー、郵便局、銀行等がない一方、南部地域には倉庫が集中していて、我々市民は協力している。

税収をもっと市民に還元していただきたい。海老名市はごみや駐車場を有料化している。税収が上がっている中、収入があまりないのに物価は上がっている。市民にぜ

ひ還元していただきたい。

〔回答〕

実証運行として、南部に You Bus を走らせるが、無料ではない。利用者の方に運賃を支払っていただいたとしても、運営は赤字である。負担はあったとしても、負担以上に費用がかかっていることをご理解いただきたい。

ごみの有料化はごみの減量化を図るために行っている。実際に減量化が図られている。高座清掃施設組合（焼却施設）は本郷にあり、地元住民は迷惑施設をこれ以上つくってほしくないと思っている。さらにごみを減量させるため、無料に戻すことは考えていない。

有料化と物価高騰は別の話であり、物価高騰対策としては、えび〜にや商品券の発行など様々なことを行っている。これは市民にも事業者にも喜んでいただいている。

南部地域に病院やスーパーがない理由は、需要と供給の問題である。事業者は儲けがないところに進出しない。現在、買い物不便地域を中心に相鉄ローゼンとイオンが移動販売を行っているが、市はガソリン代の補助金を出して支援している。南部地域へのスーパーや病院の誘致は難しいと考える。

駐車場の有料化は利益を得られる方が料金を支払うという受益者負担の原則に立っている。施設の駐車場を使わない人は全く使わない。そのため、受益者負担の観点で、駐車料金をお支払いいただいている。

運動公園の駐車場の利用者は減ったが、運動公園自体の利用者は増えている。ビナレッジ、図書館等も同じ状況である。

コミュニティセンターを有料化するとはまだ言っていない。コミセンは自治会館と同じく、地域のコミュニティの場であることから、十分検討する必要がある。受益者負担の原則に基づき駐車場の有料化をうたっているが、実施する際は市民の皆さんの理解を得なければならないと考えている。